

安実 隆直 ANJITSU TAKANAO

県政報告誌

安心を実感できるまちに

vol.13

令和5年6月発行

今日も

大安
吉実
たいあん きちじつ

ごあいさつ

雨にぬれた青葉が鮮やかに目に映えることとなりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

4月に行われた石川県議会議員選挙(白山市選挙区)において、無投票ではありますが、2期目の当選を果たすことができました。これからも市民と県民を第一に考え、地域の皆様が安心を実感できるまちの実現に向けて取り組んでまいります。

5月5日、珠洲市で震度6強の揺れを観測した大きな地震が能登地方を襲いました。お亡くなりになった方にお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭った方々にお見舞い申し上げます。一日も早く被災者の方々が安心、安全な暮らしを取り戻し、災害に強い県土の強靱化対策にも、知事や市町とも連携を図りながらしっかり取り組んでいく所存です。

一方で嬉しいニュースも飛び込んできました。5月24日、白山手取川ジオパークが国内10例目で、北陸三県で初となる世界ジオパークに認定されました。さらに県や市と連携を深め、誘客や地域振興に生かしていきたいと思っております。

すでに2期目の議員生活がスタートしておりますが、初心を忘れることなく、石川県民の一人ひとりが夢や希望をもって暮らせるよう県議会議員としての職務を全うしてまいります。



石川県議会議員 安実隆直

視察レポート

全国初レベル4の自動運転開始

5月17日、福井県永平寺町で全国初となる「レベル4自動運転」ZEN drive(7人乗り・最高時速12キロ)を視察しました。



PROFILE プロフィール

(あんじつ・たかなお)

1964年8月18日白山市矢頃島町生まれ。松南小学校、松任中学校、石川県立松任高校、石川県立農業短期大学卒業。手取川七ヶ用水土地改良区勤務を経て、2013年2月白山市議会議員初当選～2期。19年4月石川県議会議員初当選、23年4月2期当選。

《所属会派》自由民主党石川県議会議員協議会

《所属委員会》環境農林建設委員会(副委員長)、観光・文化スポーツ特別委員会



スマホでも活動報告をぜひご覧ください

◀裏面の「2023.3.2 県議会定例会 一般質問」もぜひご覧ください。



農業対策について

Q.米の需要が減少する中、水田園芸の農家所得の向上について、どのような品目で産地形成を促進していくのか。具体的なプラン内容を教えてほしい。

A.県は水稻農家の収入源を増やすため、水田での栽培に適したカボチャやブロッコリー、白ネギ、タマネギの4品目の野菜の育成を推進し、支援する。他にも能美市の特産品「加賀丸いも」も対象とし、これらの野菜の産地化や産地拡大にJAなどとプランを策定して取り組む生産者には、種や苗、肥料などの栽培経費を3年間集中して支援する。

県議会・録画中継をご覧ください

県議会・会議録もご覧ください

発言者検索で「安実」と入力してください



並行在来線の活用策と利便性向上について

Q.新幹線県内全線開業に伴い、金沢以西区間はJRからIRいしかわ鉄道へ移管されるが、運賃と運行本数はどうなのか。また、訪日外国人旅行者向けの割安乗車券「ジャパン・レール・パス」は、JR新幹線駅以外の駅で利用できず、JR在来線沿線の市町にも影響が出ると思うが、今後どうするつもりか。

A.金沢以東開業時と同様にJR運賃から平均1.09倍程度値上げの見込み。運行本数は、現行本数を維持することを基本に、沿線地域の住民の利便性に配慮しながら新幹線のダイヤやIRいしかわ鉄道の運営への影響等も踏まえて検討し、12月頃に発表される予定となっている。

ジャパン・レール・パスは、JRと共同販売しているJR各社への同意も必要と言われていたが、IRいしかわ鉄道の区間内でも利用できるよう粘り強く働きかけていく。

白山手取川ジオパークの世界ジオパーク認定について

Q.新幹線県内全線開業PR実行プランに白山手取川ジオパークの活用を盛り込むべきではないか。また、いしかわ文化観光推進ファンドを利用し、白山手取川ジオパークを支援してはどうか。

A.北陸三県連携によるPR機会と捉え、首都圏でのメディアへの観光PR会議やJRの北陸デスティネーションキャンペーンに向けて、各県のジオパークの魅力を発信し、誘客につなげていきたい。

いしかわ文化観光推進ファンドでは、文化の担い手と観光事業者が連携し、文化観光素材の発掘から磨き上げ、販売促進までを支援する。白山手取川ジオパークには、豪雪地帯・白峰の暮らし体験や日本酒、フグの卵巣のぬか漬けなどの発酵食など魅力的な文化観光素材が多く、同ファンドでも民間事業者から高付加価値な旅行商品を公募しており、積極的な提案を期待している。



5月24日世界ジオパーク認定された
白山手取川ジオパークホームページ↑

ナショナルサイクルルート指定に向けた取り組みについて

Q.令和5年度2億2千5百万円の予算計上したいいしか万里山海サイクリングルートの魅力向上の具体的な取り組みや今後の方針を教えてください。



A.白山手取川ルートを含む全7ルートで国のナショナルサイクルルートの指定を目指し、利用促進協議会や専門家からの意見を踏まえて注意喚起看板の設置場所や案内看板のデザインなどに反映している。令和5年度に全ルートの整備が完了予定で、市町と連携してガイドの育成や新たな観光コンテンツ開発に取り組む団体や事業者を支援していく。

信号機の設置、廃止の基準について

Q.通学路の変更に伴って、信号機も移転新設させることはできないのか。

A.新たに通学路ができるなど、信号機設置の指針※に示された条件を満たすことになった箇所は、必要性を判断した上で設置に向けた手続きを進めている。一方、条件を満たさなくなった場合は、廃止に向けた手続きを取っている。

※信号機設置の指針

- ①信号で停止している車とすれ違いできる幅が確保されていること
- ②歩行者が横断するまでに安全に待機できる場所が確保されていること
- ③道路の交通量がピーク時間帯において原則1時間当たり300台以上あること
- ④直近の信号機から150メートル以上離れていること
- ⑤信号灯器が見やすい配置となるように信号柱を建てる場所が確保されていること

上記の全ての条件を満たし、下記のいずれか1つを満たすこと

- ①信号機の設置により抑止することができた人身事故があり、かつ他の対策により代替できないこと
- ②小中学校、幼稚園等の幼児、児童生徒、あるいは病院、老人ホーム等の高齢者の交通安全を特に確保する必要があること
- ③交差する道路の交通量が一定の基準を超えていること
- ④横断歩道者が多く、付近に立体横断施設がないこと

【その他の質問】 ● 県産米の消費拡大キャンペーンの実績と効果 ● 農業の担い手の確保 ● スマート農業の普及 ● 並行在来線を活用した周遊観光促進など 皆様の声をお聞かせください



安実隆直事務所

〒924-0865 白山市倉光五丁目106-1 グレイス K1F
TEL & FAX.076-205-8299 E-mail takanao@anjitsu.jp
<https://anjitsu.jp>

あんじつ

検索



最新情報は公式facebookで配信中

